

平成18年度 大宮国道事務所の事業概要について

記者発表資料

平成18年度の大宮国道事務所の取り組み及び事業概要は以下のとおりです。

「道路見える化計画」に取り組んでいます。

- ・道路の課題をデータできちんと把握し、課題や解決策及びその結果をわかり易く皆さんに「見える化」してまいります。



平成18年度は、以下の予算規模で事業を推進してまいります。

予算規模：約406億円

管理路線：約256km（国道4、16、17号：1区21市6町）

- ・首都圏中央連絡自動車道（圏央道）については、引き続き用地買収、工事を推進します。圏央道は、「目標宣言プロジェクト」により整備を進めており、開通に向け事業進捗管理を徹底してまいります。
- ・一般国道17号上尾道路については、引き続き用地買収、工事を推進します。
- ・一般国道17号与野大宮道路については、引き続き工事を推進してまいります。平成18年度は、共同溝の本復旧を完成し、一部区間の供用を図ってまいります。
- ・震災対策事業としては、一般国道16号中川橋、一般国道17号三ツ木橋等について耐震性向上を図ってまいります。
- ・交通安全事業としては、一般国道4号越谷市神明町北交差点等、死傷事故の多い箇所について事故対策を図るとともに、一般国道17号深谷市における歩行空間のバリアフリー化について推進してまいります。

国土交通省 関東地方整備局 大宮国道事務所ホームページ
<http://www.ktr.mlit.go.jp/oomiya/>

平成18年4月12日

国土交通省関東地方整備局 大宮国道事務所

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ・横浜海事記者クラブ・神奈川建設記者会・埼玉県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局 大宮国道事務所 048-669-1200（代）
副所長 瀬尾 俊男（せお としお）、工務課長 深沢 哲也（ふかさわ てつや）

1) 概要

大宮国道事務所は、一般国道4号、16号、17号、468号（首都圏中央連絡自動車道）の4路線において、交通円滑化、地域連携、維持修繕、沿道環境改善、交通安全、電線共同溝の整備等を推進してまいります。

各事業の実施にあたっては、新しい道路行政マネジメントの基で、「防災」、「暮らし（安全・安心）」、「環境」、「活力」の施策テーマを実現するため、次の事項を重点に事業を進めてまいります。



1. 新しい道路行政マネジメントの実践

「道路見える化計画」の取り組み

- ・国や地方の財政が逼迫する中、限られた予算で効率よくサービスを提供するため、道路の課題をデータで把握し、解決を急ぐべきところから対策を講じてまいります
- ・また、「工事の目的」や道路の「課題」「解決策」など、今まで利用者、納税者の皆さんに見えにくかった道路行政を、もっとわかりやすく「見える化」し、効率的に道路行政を進めてまいります。

交通安全見える化プランの推進

- ・埼玉県内における交通事故率等のデータを分析し、「優先対策箇所」とその対策を公表し、選択と集中のもとに事業を推進してまいります。

移動性見える化プランの推進

- ・データに基づく移動性阻害箇所の選定・公表を行い、阻害要因改善に向け事業を推進してまいります。

目標宣言プロジェクトの推進

- ・速やかに事業進捗を明らかにすべく開通目標を公表するとともに毎年度の事業進捗目標とその達成度を併せて公表し、徹底した事業進捗管理を行ってまいります。

【一般国道468号 首都圏中央連絡自動車道（圏央道）】

- ・現在、圏央道は「目標宣言プロジェクト」により整備を進めており、
鶴ヶ島JCT～川島IC（仮称）間：平成19年度
川島IC（仮称）～桶川JCT（仮称）間：平成21年度
桶川JCT（仮称）～菖蒲白岡IC（仮称）間：平成24年度
の開通に向け、事業を進めています。



「見せる現場」プロジェクトの推進

- ・「工事の目的」や「工事の内容」等についてお知らせする事業説明看板などを設置し、利用者、納税者の皆さんに道路行政について、もっとわかりやすくしてまいります。

かしこいスリム化プロジェクトの推進

- ・地域住民と行政が協働し、ユーザーの満足度を最も高めながら、道路の管理水準見直し（かしこいスリム化）を実践してまいります。

国民との協働による道路行政の推進

国民のニーズにきめ細やかに対応し、よりよい道路行政を推進していくため、国民と密接に関わる道路管理の分野において、ボランティアサポートプログラム等を引き続き支援します。

【道路の維持管理】

- ・一般国道17号のさいたま市、深谷市及び上尾市において、住民参加による緑化・清掃活動であるボランティアサポートプログラムを引き続き進めてまいります。

2. 防災 ~ 災害に強い国土づくり ~

橋梁耐震補強の推進

緊急輸送道路の橋梁、鉄道を跨ぐ橋梁について、「耐震補強3箇年プログラム」に基づき耐震補強を推進します。

【管内橋梁の耐震補強】

- ・一般国道16号中川橋（春日部市新川地先）、一般国道17号三ツ木橋（鴻巣市三ツ木地先）などの耐震補強工事に着手してまいります。

共同溝整備の推進

電気、上水道、電話のケーブルなど生活に欠かせないライフラインを守る共同溝の整備を推進します。

【一般国道17号 与野共同溝】

- ・さいたま新都心関連としてさいたま市への電力等の供給を支援するため、一般国道17号与野共同溝、延長1.6kmのうち、延長1.2kmの工事を推進してまいります。

重点的・効率的な道路維持管理の推進

道路施設の安全を確保するため、橋梁等の補修を進めます。また、老朽化した道路ストックが今後増加することを踏まえ、計画的な補修による維持管理を行います。

道路維持管理に係る日常的（道路巡回、清掃散水、除草、剪定）経費については、路線・地域特性・安全・経費節減を考慮して効率的に実施します。

3 . 暮らし ~ 安全で安心できる暮らしの確保 ~

安全で快適な生活環境の確保

幹線道路において、データに基づいた死傷事故が多い箇所について対策を重点的に実施するとともに、生活道路において、あんしん歩行エリアを整備すること等により効果的・効率的な交通事故対策を推進します。また、歩行空間のバリアフリー化についても推進します。

あんしん歩行エリア、歩行空間のバリアフリー化の整備

【一般国道17号 深谷市原郷～本住町】

- ・「深谷市交通バリアフリー基本構想」と一体的に、交通流の円滑化や安心して移動できる歩行経路を整備し、歩行者等の安全な通行を確保するため、既設歩道の拡幅等の交通流対策を進めてまいります。

事故多発箇所の対策

- ・大宮国道事務所管内のデータに基づいた死傷事故が多い箇所である一般国道4号越谷市神明町北交差点等において事故対策を進めてまいります。

無電柱化により安全・快適・美しい都市空間を形成

都市景観や防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保等を図るため、「無電柱化推進計画(H16～H20)」に基づき、無電柱化を引き続き推進します。

【一般国道16号岩槻(1)地区電線共同溝】

- ・都市景観や防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、情報通信ネットワークの信頼性の向上の観点から、さいたま市岩槻区内において整備を推進してまいります。

4 . 環境 ~ 地球環境の保全 ~

地球温暖化対策

京都議定書に基づくCO₂(二酸化炭素)排出削減を図るため、渋滞がなくスムーズに走れる道路の実現を図ってまいります。

首都圏三環状道路の重点整備

【一般国道468号 首都圏中央連絡自動車道(圏央道)】

- ・圏央道の鶴ヶ島ジャンクション～桶川市・菖蒲町境間の延長19.9kmについて、引き続き測量、調査、用地買収、埋蔵文化財調査並びに工事を推進してまいります。平成18年度は、北本地区の用地買収に着手するとともに、荒川渡河橋の下部工事に着手してまいります。

交通の円滑化

【一般国道17号 あげお 上尾道路】

- ・一般国道17号上尾道路のさいたま市西区宮前町にしくみやまえちょう～桶川市川田谷間おけがわしかわたやの延長1.1kmについて、引き続き調査設計を進めるとともに、用地買収及び工事を推進してまいります。平成18年度は、宮前ICから上尾環状線間において用地買収及び工事を推進するとともに、上尾環状線から圏央道間において調査設計及び用地買収を推進してまいります。

【一般国道16号 いるまさやま 人間狭山拡幅】

- ・一般国道16号で県内唯一の2車線区間となっている人間市河原町いるましかわらちょう～狭山市鷺ノ木間さやましうのきの延長1.6kmについて、4車線化のための用地買収及び工事を推進してまいります。

【一般国道17号 よのおおみや 与野大宮道路】

- ・一般国道17号のさいたま市中 中央区下落合ちゅうおう しもおちあい～同区上落合間かみおちあいの延長1.2kmについて、4車線化のための用地買収及び共同溝工事を推進してまいります。平成18年度は、そのうち八幡通り線はちまんどおりから南大通東線間みなみおおどおりひがしの延長0.7km区間について本復旧を完成し、供用を図ってまいります。

【一般国道17号 ほんじょう 本庄道路】

- ・一般国道17号本庄道路については、早期の都市計画決定に向け、環境調査を推進し、環境影響評価準備書を作成してまいります。

5. 活力 ～ネットワークの構築による都市と地域の再生～

環状道路の重点的な整備

都市の骨格を形成するとともに、交通渋滞の緩和を図り、良好な生活空間を創造するため、環状道路を重点的に整備します。

【一般国道468号 首都圏中央連絡自動車道（圏央道）】

- ・大宮国道事務所しょうぼうまちにおいては、3つの環状道路のうち圏央道つるがしまし おけがわし（鶴ヶ島市～桶川市・菫蒲町境間）を担当しており、引き続き重点的かつ効率的に事業を進めてまいります。

2) 事業費

(単位：百万円)

区 分	18年度(A)	17年度(B)	倍率(A/B)
道路事業費	32,713	23,644	1.38
交通円滑化事業費	27,652	18,429	1.50
地域連携推進事業費	2,602	2,615	0.99
直轄道路維持修繕費	2,459	2,600	0.91
維持	1,962	2,029	0.92
修繕	497	571	0.87
道路環境整備事業費	6,971	7,311	0.95
沿道環境改善事業費	2,211	3,107	0.71
改築	1,986	670	2.96
管理	225	2,437	0.09
交通安全施設等整備事業費	593	700	0.85
一種	315	129	2.44
二種	278	571	0.49
交通事故重点対策事業費	1,919	1,430	1.34
一種			
改築	108	-	-
管理	1,707	1,320	1.29
二種	104	110	0.95
電線共同溝整備事業費	2,248	2,074	1.08
附帯工事費	301	503	0.60
受託工事費	610	589	1.03
合 計	40,595	32,047	1.26

道路事業費には共同溝整備事業費を含む(H18:C=136、H17:C=195)

直轄道路維持修繕費には建設機械整備費を含む(H18:C=103、H17:C=111)

3) 事業内容

【改築事業】

路線	事業名	箇所・地先名	延長	今年度事業内容
16	いるまさやま 人間狭山拡幅	いるましかわらちよう さやましうのき 人間市河原町～狭山市鵜の木	1.6km	用地買収・工事推進
17	しんおおみや 新大宮バパス	ねりまくきたまち いたばしくみその 東京都練馬区北町～板橋区三園	3.2km	調査推進
17	よのおおみや 与野大宮道路	ちゅうおうくしもおちあい かみおちあい さいたま市中央区下落合～上落合	1.2km	用地買収・工事推進
17	あげお 上尾道路	にしくみやまえちよう さいたま市西区宮前町～ おけがわしかわたや 桶川市川田谷	11.0km	調査・設計・用地買収・ 工事推進
17	ほんじょう 本庄道路	ほんじょうしぬまわだ たかさきしんまち 本庄市沼和田～群馬県高崎市新町	7.0km	調査・設計推進
468	首都圏中央連絡 自動車道	つるがしましおおあざふしがね 鶴ヶ島市大字藤金～ おけがわしおおあざごちようだい 桶川市大字五丁台	19.9km	調査・設計・用地買収・ 工事推進

【共同溝事業】

路線	事業名	箇所・地先名	延長	今年度事業内容
17	よの 与野共同溝	ちゅうおうくかみおちあい さいたま市中央区上落合	1.2km	工事推進

【維持修繕事業】

路線	今年度事業内容
4.16.17	一般国道4号、16号、17号において維持・修繕を実施 一般国道16号中川橋等において耐震補強工事を実施

【沿道環境改善事業】

路線	箇所・地先名	今年度事業内容
4	かすかべし 春日部市	低騒音舗装等を実施

【交通安全事業】

路線	箇所・地先名	今年度事業内容
4.16.17	大宮国道管内	死傷事故が多い箇所対策の推進
17	ふかやし 深谷市	あんしん歩行エリアの整備、歩行空間のバリアフリー化の推進

【電線共同溝事業】

路線	箇所・地先名	今年度事業内容
4.16.17	そうかし かすかべし 草加市、春日部市、 さいたま市等	電線共同溝の整備

【H18 継続】
一般国道468号 首都圏中央連絡自動車道

H18 事業内容：調査設計、用地買収、工事推進



直轄

1. 事業の概要

首都圏中央連絡自動車道（圏央道）は、都心から半径およそ40km～60kmの位置に計画された総延長約300kmの環状の高規格幹線道路である。

本道路は、東京湾アクアライン、東京外かく環状道路等と一体となって首都圏の広域的な幹線道路網を形成し、交通混雑解消や都市構造の再編成を図る重要な役割を担っている。

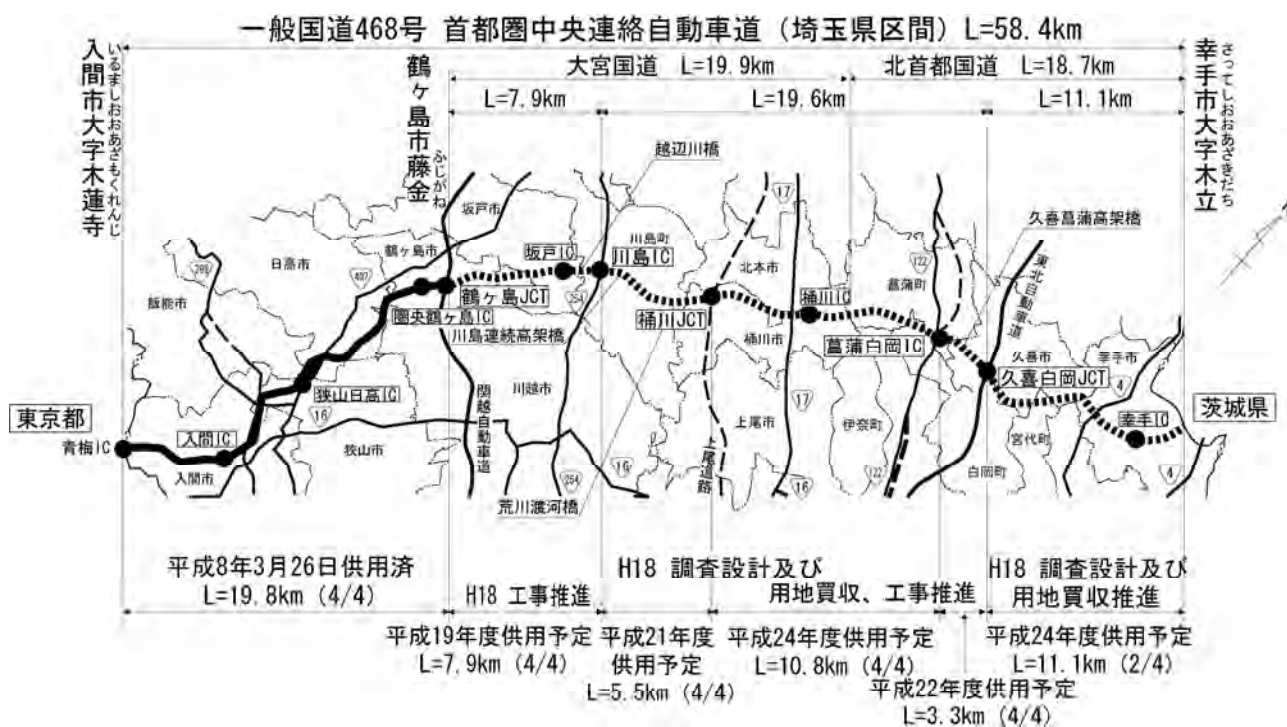
埼玉県区間は入間市木蓮寺から幸手市木立までの延長58.4km区間である。昭和60年度より順次事業化し、このうち入間市から鶴ヶ島市（関越道）間の延長約19.8km区間について、平成8年3月に供用した。

平成18年度は、引き続き調査設計、用地買収及び工事を推進していく。

なお、圏央道は「目標宣言プロジェクト」により整備を進めており、開通に向け事業進捗管理を徹底していく。

2. 計画内容

- ・所在地：埼玉県入間市木蓮寺～幸手市木立地先
- ・全体延長（埼玉県区間）：L = 58.4 km（4車線）
- ・大宮国道事業区間：埼玉県鶴ヶ島市藤金～桶川市五丁台地先
- ・事業区間延長：L = 19.9 km（4車線）



【H18 継続】

一般国道17号 ^{あげお} 上尾道路

H18 事業内容：調査設計、用地買収、工事推進

直轄

1. 事業の概要

上尾道路は、一般国道17号の^{あげおし}上尾市から^{こうのすし}鴻巣市間の交通混雑の緩和と沿道環境の改善を図るとともに、さいたま新都心へのアクセス強化など幹線道路網を形成するために計画された、延長約20kmのバイパスである。

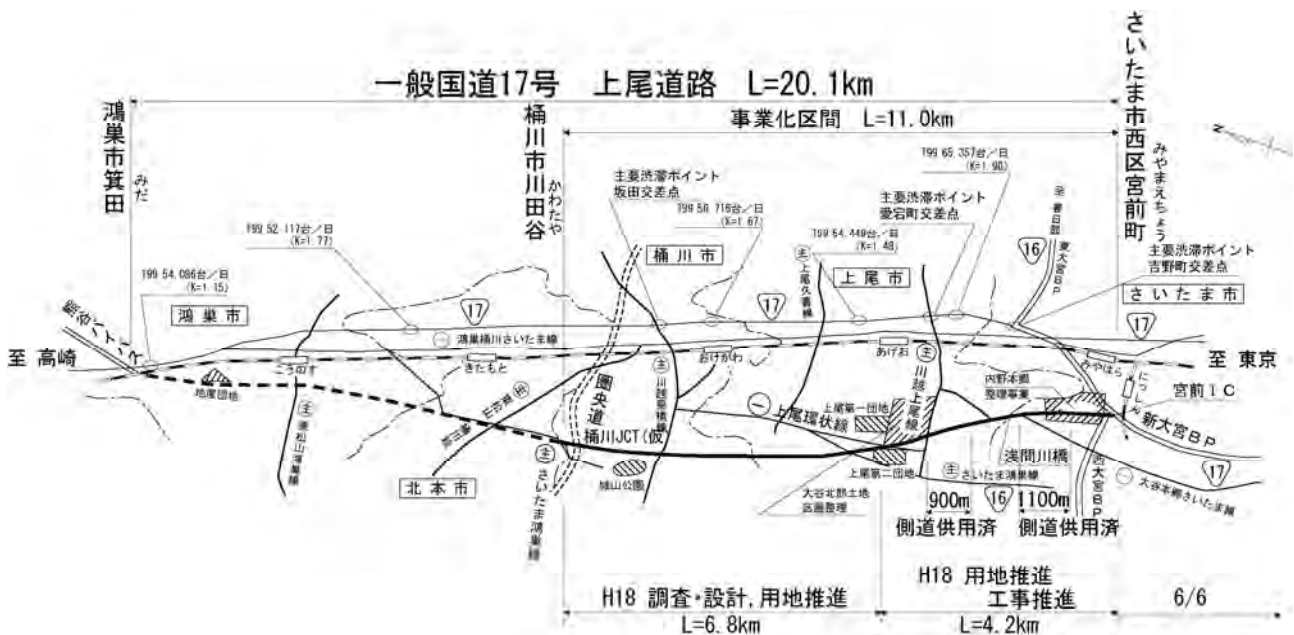
このうちさいたま市^{にしくみやまえちやう}西区宮前町～^{あげがわしかわたや}桶川市川田谷間の延長11.0kmを平成2年度より順次事業化し、これまでに宮前ICから(一)上尾環状線間の延長4.2kmについて用地買収を推進し、平成14年度から工事着手した。

平成17年度は、宮前IC～(一)上尾環状線間の用地買収及び工事を推進した。

平成18年度は、引き続き宮前IC～(一)上尾環状線間の用地買収及び工事を推進するとともに、(一)上尾環状線～圏央道間については、調査設計、用地買収を推進していく。

2. 計画内容

- 所在地：^{さいたまけん}埼玉県さいたま市^{にしくみやまえちやう}西区宮前町地先
～^{さいたまけん}埼玉県^{あげがわしかわたや}桶川市川田谷地先
- 全体延長：L = 11.0 km (4車線)



【H18 継続】
一般国道17号 与野大宮道路

H18 事業内容：調査設計、用地買収、工事推進

直 轄

1. 事業の概要

与野大宮道路は、さいたま新都心関連街路の骨格道路として平成元年度に都市計画決定した、さいたま市中央区下落合からさいたま市大宮区桜木町間に至る延長約2.7kmの現道拡幅事業である。

このうち、(都)赤山西線から(都)南大通東線間の延長約1.2kmについて、平成6年度に事業化、平成7年度より用地買収に着手し、平成11年度に延長1.2kmについて3車線にて暫定供用した。

平成18年度は、引き続き用地買収を推進するとともに、八幡通り線から南大通東線間延長0.7km区間において共同溝の本復旧を完成し、供用する予定である。

2. 計画内容

- ・ 所在地：埼玉県さいたま市中央区下落合
 ~ 埼玉県さいたま市中央区上落合
- ・ 事業化延長：L = 1.2 km (4車線)



【H18 継続】
一般国道17号 本庄道路

H18 事業内容：調査設計推進

直轄

1. 事業の概要

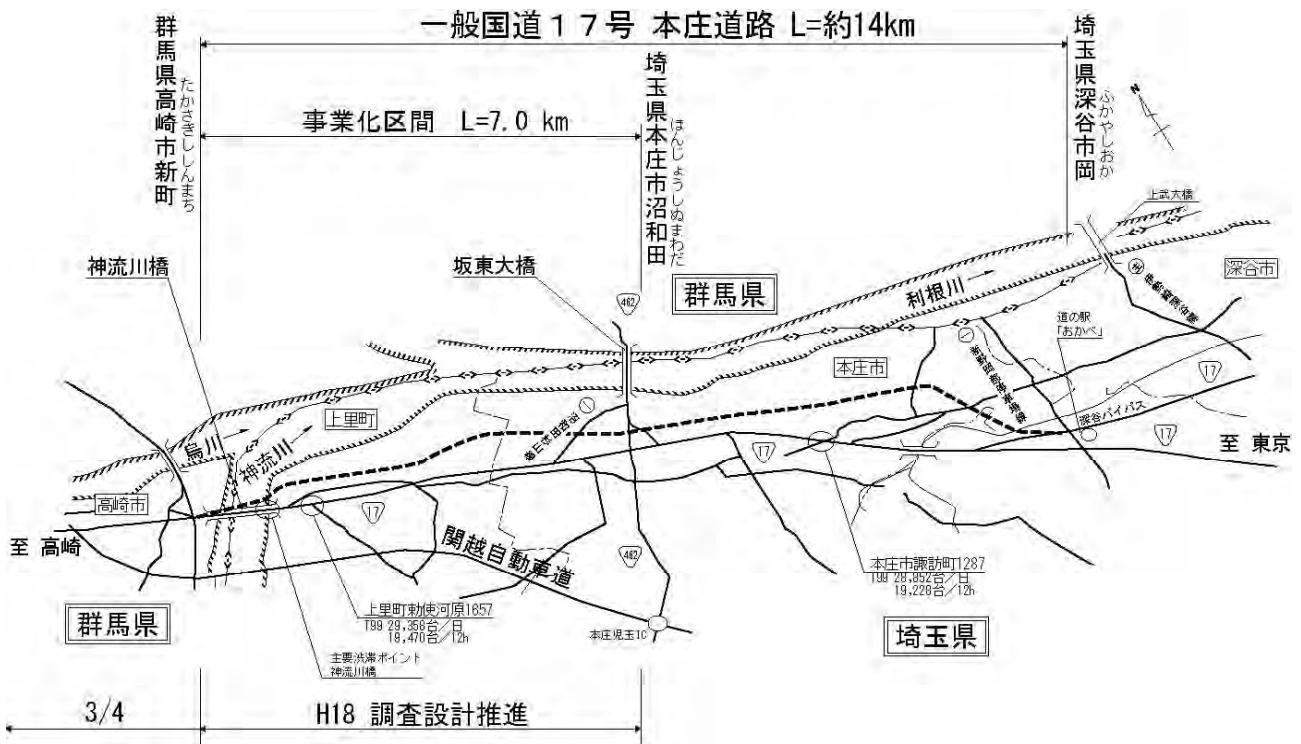
本庄道路は、深谷バイパス等と一体となって地域の幹線ネットワークを形成し、一般国道17号の交通混雑の緩和や本庄地方拠点都市地域開発を支援する埼玉県深谷市岡から群馬県高崎市新町に至る延長約14kmのバイパスである。また、埼玉・群馬県境の神流川に架かる神流川橋の架替により、地域の防災・震災対策に大きく寄与するものである。

平成15年度に一部区間を事業化し、平成17年度は道路設計、環境影響評価方法書に基づき環境調査を推進した。

平成18年度は引き続き、都市計画決定に向け環境調査等を推進し、環境影響評価準備書を作成していく。

2. 計画内容

- ・所在地：埼玉県深谷市岡地先～群馬県高崎市新町地先
- ・全体延長： L = 約14km (4車線)
- ・事業化延長： L = 7.0km (4車線)
(埼玉県本庄市沼和田～群馬県高崎市新町)



【H18新規】

一般国道4号

こしがやしんめいちようきた

越谷市神明町北交差点改良

H18事業内容：交差点改良

直轄

1. 事業の概要

一般国道4号は、東京都中央区を起点とし、草加市、仙台市等の主要都市を經由して青森県青森市に至る延長約860kmの主要幹線道路である。

当該事業箇所は「交通安全見える化プラン」において、埼玉県内の死傷事故データに基づき抽出した箇所であり、慢性的な右折の渋滞が発生していること等から、追突及び右折による事故が多く発生している。

平成18年度は、右折レーンの延伸、区画線の路面表示等の交差点改良を行い、通行車両の安全性を確保し、交通流の円滑化を図るものである。

2. 計画内容

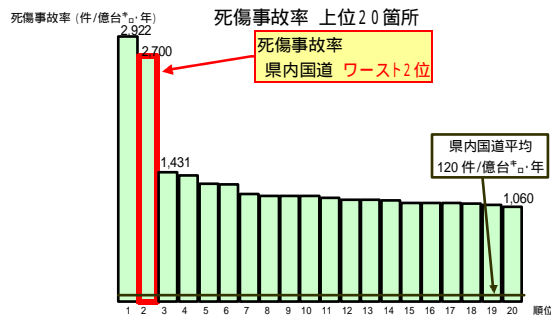
所在地：越谷市南荻島地先
 延長：L = 0.3 km
 供用予定：平成18年度予定

【位置図】

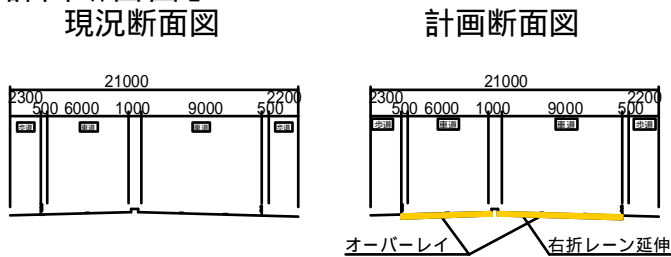
H18事業箇所
 交差点改良



埼玉県内の国道における死傷事故率



【計画断面図】



【平面図】

